

ありがとうメッセージ(^-^)

在宅寝たきり長寿者笑顔宅配サービス(市社協)

この事業を実施することにより、普段、なかなか民謡歌手のコンサートにいけない高齢者に喜ばれています。ありがとうございました。



ふくふく童話製作配本(市社協)

童話は、夢と想像力に満ちた素敵なお世界へ読む人を誘います。ふくふく童話 大賞も、わくわくドキドキさせるようなファンタジーの世界や、やさしさや思いやりあふれる心豊かな世界へ、大人も子どもも誘うことを願っています。

高齢者居住サポートモデル事業(市社協)

平成25年度は4人のひとり暮らしの高齢者の方をアパートへの入居することができました。入居後も高齢者支援センターや地域の支援を受け、落ち着いた生活を送っています。大変助かりました。ありがとうございました。

高校生スマートライアルツアー(市社協)

この講座でたくさんのお話を学びました。高齢者疑似体験はとても驚きました。いつもおじいちゃんや歩みにくそうで大変そうだと思ってはいたけど、こんなに大変だとは思っていませんでした。人の痛みは実際に体験しないとわからないということが分かりました。また、体の不自由な人を助けるときの具体的な話を聞いたので、とても勉強になりました。子ども達との交流は、とても充実した時間でした。最初はちゃんとできるか心配だったけど、子ども達と手をつないだり、おしゃべりしたりしていると緊張もほぐれて、自然に子ども達と楽しむことができました。この講座で「福祉」のことを考えさせられる2日間になりました。スマートライアルで一番学んだことは、「相手の気持ちになって考え行動する」ことが大事だとおもいました。このことを忘れずにふだんから心がけていきたいです。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。(高校生感想文抜粋)

社会福祉大会運営(市社協)

第30回沖縄市社会福祉大会は、式典と記念講演の2部構成となっており、式典では、長年にわたり社会福祉の発展・推進に功労のあった個人、団体49件を表彰しました。記念講演では、NPO法人バリアフリーネットワーク会議代表の親川修氏を迎え「那覇空港しょうがい者・こうれい者観光案内所から見えてきた福祉の未来」と題して講演を行いました。共同募金配分金をいただき、ありがとうございました。

沖縄市福祉まつり(市社協)

25年度も福祉団体やボランティア団体38団体が出展し、日頃の活動を発表することができました。会場からは多くの方が来場し、福祉団体やボランティア団体が日頃の活動で作成した作品を見ていただきました。今回で第30回となり、オープニングセレモニーでは、東京国体にも招待された市内の知的障がい者で結成された『きら星エイサー隊』がエイサーを披露していただきまつりに活気を与えてくれました。多くの市民が来場され、励ましの言葉をいただき、今後の活動意欲に繋がっています。今後も市民総ぐるみの福祉のまちづくりを目指していきたいと思っております。



機関誌の印刷(市社協)

「社協だより」を年2回発刊、「社協案内」を年1回発刊しました。そのほか、各事業の広報チラシを作成・配布し、より多くの方に社協活動をご理解、応援していただいています。また、沖縄市内全戸配の他、各自治会や関係機関に配布することで、地域福祉の向上のために活用しています。ありがとうございました。

PR 活動等の印刷物の発行 (市社協)

社協会員の募集依頼、趣意書、チラシ、会員章を作成し、郵送または直接依頼しています。会費は高齢者福祉、地域福祉等に活用させていただいていますので、より多くの方が社協活動に賛同していただくためにもチラシ等の作成は、とても重要になっています。25年度は、市民の方や団体が福祉にご理解いただき、特別会員 103 団体、賛助会員 936 名、一般会員約 11,837 世帯が会員になっていただきました。大変ありがとうございました。

友愛訪問 (市老人クラブ連合会)

寝たきりの方や閉じこもりがちな方を訪問し、安否確認や話し相手になることで、心の安らぎや孤立感の解消になっています。活動推進にあたっては地域の民生委員などの福祉関係者との連携が図られています。また、訪問する側にとっても社会貢献活動に参加することが本人の生きがいくりにもなっています。高齢者が高齢者をお世話する時代には不安もありますが、共同募金によりすべての世代が関わっていると感じることで励みになります。これからも手を携えて頑張りましょう！

レクレーション大会 (市老人クラブ連合会)

日頃から健康づくり・仲間づくりとして取り組んでいるレク活動の発表の場を設けることで、生きがいくりに寄与することができ、また地域間の交流を図ることができました。多くの方の善意のおかげで、高齢期を楽しくいきいきと過ごすための事業を充実させることができました。ありがとうございました。



島マス記念塾 (市社協)

島マス記念塾では、沖縄の経済、文化、歴史、地域作りなど、沖縄のことについてさまざまな角度から学ぶことができます。これまで 300 名あまりの卒塾生が誕生し、県内各地で活躍しています。



ふれあいのまちづくり事業 (市社協)

地域住民同士で支えあう小地域ネットワーク事業などを展開することにより、孤立死の予防や、地域で支援が必要な方へ必要なサービスをつなぐことができます。多くの市民の方に、地域福祉活動へ参加していただける事業です。

小地域福祉活動 (市社協)

各自治会で地域のネットワークを強化することを目的に開催。自治会が主体となり、各地域での取り組みをサポートしています。ありがとうございます。

老人クラブ大会 (市老人クラブ連合会)

老人クラブが目指す活動目標や決意を示した大会宣言などで、老人クラブ活動を内外に発信することができました。またサークル発表会は、活動目標として大きな生きがいとなっています。第 42 回全国老人クラブ大会へ 2 人を派遣。全国的な事例を学習することができ、役職員の資質向上を図ることができ、県内外の関係者とのネットワークを深めることができました。多くの善意のおかげで、高齢期を楽しく生き生きと過ごすための事業を充実させることができました。ありがとうございました。

スポーツ交流大会(市老人クラブ連合会)

市全域の大会を実施することで、広域交流が図られ、健康づくり・仲間づくりに資することができました。自治会単位でも実施されており、世代交流が図られるなどの波及効果が期待されています。多くの方の善意のおかげで、高齢期を楽しく生き生きと過ごすための事業を充実させることができました。ありがとうございました。



子ども文化芸能まつり(沖縄市青少年育成市民会議)

今回出場した団体の演舞内容も素晴らしく、沖縄の伝統芸能であるエイサーをはじめ、創作和太鼓、子どもエアロビクスや沖縄県無形文化財の泡瀬子ども京太郎も披露され、各地域で頑張っている子供達の姿を観客に魅せることができた。開会の挨拶、受付、進行、舞台スタッフまで全ての運営において中高生が中心になって行い、会場は惜しめない拍手と盛大な声援が子どもたちへ送られた。多くの皆様の心あたたまる善意のおかげで今年も事業が成功できました。さて、青少年健全育成の実施団体として微力ながら活動しております当会ですが、ご承知の通り、現在、青少年を取り巻く社会環境は大変厳しいものであります。当会では、多くの皆様の協力を仰ぎながら、関係する団体等とともに連携を密にし、将来を担う青少年の健全育成に向けて、身近な地域における拠点づくりとその活性化を図るため、引き続き努力を重ねていく所存であります。

沖縄市中学校福祉作文コンクール

沖縄市中学校「福祉体験」をテーマに作文コンクールが行われ、24名が優秀賞に選ばれました。思いやりの心、助け合いの心、ボランティア活動、命の大切さなど各々が体験し感じたことを作文にすることに挑戦していただきました。市内中学校8校の生徒の応募が多数寄せられ、その中で24名の方が選出され表彰されました。表彰式において、副賞(図書カード)を手渡すと、生徒の皆さんも喜び、次の意欲に繋がっていると感じています。ありがとうございました。

意見発表大会(市老人クラブ連合会)

4人の出場者が意見・体験を発表し最優秀者を中部地区大会へ派遣。高齢者の持つ豊かな経験や知識を、意見・体験発表という形で広く内外に発信することができました。多くの方の善意のおかげで、高齢期を楽しくいきいきと過ごすための事業を充実させることができました。ありがとうございました。

ボランティア育成(市赤十字奉仕団)

今年度は、沖縄市内の各小学校をまわり『災害時の炊き出し』を実施しました。ハイゼックスの使用説明、実際に炊き出しを行い試食タイム。災害時の炊き出しの一方法を知ってもらう良い機会となりました。東日本大震災での未曾有の災害で「一団体だけでは何もできない」を教訓に少しずつ多くの方に防災の意識を広げていきたいと思っております。献血推進活動では、献血の声掛け、ビラ配りをする中で、献血の理解者が増えていると実感しています。その他、病院や動物園などでの奉仕活動も団員が一致団結して頑張っています。一、すべての人々のしあわせを願い、陰の力となって人々を奉仕する。一、常に工夫して人々のために、よりよい奉仕ができるよう努める。一、身近な奉仕をひろげ、すべての人々と手をつないで、世界の平和につくす。をモットーに今後も奉仕活動と奉仕員の育成に頑張っていきます。頂いた募金は奉仕活動の原動力となっております。

沖縄市民生委員児童委員見守り活動事業

地域高齢者の見守り訪問や子供の登下校時における見守り活動により安心・安全を図ることが出来ました。皆様から頂いた募金は各地域の見守り活動に役立てることが出来ました。

手話学習・普及(手の会手話サークル)

講演会の開催で手話技術を学ぶ機会が増え、リハビリ手話コーラスの指導で高齢者・障がい者のリハビリの一助となり、手話の普及に繋がっています。手話技術の向上を目指して開催しております学習会、講演会、交流の機会が増え、会員の学習意欲も伸びつつあります。ありがとうございます。今後も交流を深めながらレベルアップを目指して頑張りたいと思っております。

地域活動事業（沖縄市手をつなぐ育成会）

達成された効果：地域環境美化奉仕作業は、地域の方々に挨拶で声かけしながら交流できました。恒例の情報交流懇親会には本人主体に会員・関係団体・行政の方を招いて交流を深めることができました。本人活動では福祉まつり、福祉展示フェア等では活動報告もしながら販売を行いました。他団体とのレクレーション交流会では相互活動を継続し、今後も進めていきたい。メッセージ：本会では、本人達がいきいきと地域で安心して生活できるよう本人支援活動等に活用させていただいています。余暇支援活動での作品を福祉まつり等で活動報告しながら販売も行いました。活動等で地域の方々に知っていただけるよう努力を続けたいと思います。ありがとうございました。



母と子の青空ビーチパーティー（市母子寡婦福祉会）

毎年、開催しビーチパーティーを楽しみに心待ちの会員も多く、母子、寡婦、子供たちも仲良く、交流を楽しんでいます。毎年、配分金をいただきありがとうございます。ビーチパーティーを楽しみにしている子供達へ素敵な思い出をありがとうございます。



育成指導奨励事業（沖縄市婦人連合会）

第65回九州地区地域婦人大会、第61回全国地域婦人大会及び中部地区青年・婦人団開催研修等でリーダーとしての資質を学ぶことができました。また他市町村との交流を通して今後の活動に生かせることを学ぶことができました。一人でも多くの会員が参加することで活動の場が広がり交流ができることを目標に今後も活動を続けていきます。婦人学級では、沖縄市について再発見でき会員同士の交流ができました。

聴覚障がいへのコミュニケーションサポート事業（手話サークル沖の会）

交流会やボランティア活動を通して地域の聴覚障がい者が参加する場を広げ、他地域との交流を行い「聴覚障害」「情報保障」を広く市民の皆様に理解する場をつくることにより誰もが参加できる社会づくりに寄与しているものと考えます。募金していただいた皆さま、ありがとうございます。皆様のご支援により、手話サークル沖の会は積極的な活動を行うことができます。地域の聴覚障がい者がコミュニケーションに不安をもつことなく地域社会で生活し積極的に参加・活動できるよう、さらなる努力を続けたいと思います。引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

沖縄市民生委員児童委員協議会研修会

6月15日東京都立川市大山自治会会長をお招きし『まちづくりと自治会活動』をテーマに講演していただきました。2月21日は、『社会教育と家庭教育の有意義な繋がりを構築するには？』スキップヒューマンワーク代表をお招きして基調講演を開催。また『民生委員の役割とは』を県民生部部長より講演いただきました。民生委員の役割を再確認し、また常識に捉われずに新たな視点指導による仕方・考え方を知ることが出来有意義な研修会となりました。皆様の善意により民生委員・児童委員資質向上に役立つことができましたことに感謝申し上げます。